

令和5年度 第1回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月28日（金） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階CSルーム
- 3 出席委員 内野 永土、藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、長田 テツ子、  
植田 渉
- 4 欠席委員 今場 嘉寿、田中 綾、太田 亜希子
- 5 オブザーバー 増田 建一（竜川ふれあいセンター所長）、藤澤 典広（龍山協働センター所長）  
坂井 久司（龍山民生委員）、森下 智子（竜川主任児童委員）、  
藤原 二三美（龍山主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 河内 浩（校長）、川村 雄司（教頭）、伊藤 卓也（CS担当）  
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から内野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和5年度学校運営の基本方針について
- （2）いじめの防止のための基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和5年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 運動会が秋の開催から春になった理由を教えてください。（青山会長）
- ・ 2学期の行事が詰まっており、少人数である子供の負担や熱中症の緩和も考え、比較的行事が緩やかな1学期に開催することにした。また、150周年記念のイベントもあり、2学期に集中させるよりは分散させたほうがよいのではないかという意見もあったため。（校長）

- ・ 150周年とは、いつが基準になるのか。(青山会長)
- ・ 学校経営書にある沿革にも記載があるように、頒布された明治5年ではなく、明治6年の学校発足から計算したものである。(校長)
- ・ 浜松市教育委員会管内にて、どのくらいの学校が記念行事を執り行うのか。(青山会長)
- ・ それはわからない。ただ、行わない学校もある。大きなイベントとして計画せず、教育課程の中で活動する学校もあって、学校により差がある。(校長)
- ・ 二俣小学校では寄付を募って、タイムカプセルの掘り起こしや記念品を作るなど大々的に行うと聞いた。(溝口副会長)
- ・ 6年の娘をもつ保護者として、今現在6年生は男1人女1人の2名であり、同年代の交流がほとんどない状況で、親としても中学への進学に大変不安を持っている。他校との交流を増やしていただけるのは非常にありがたい。(植田委員)
- ・ 今年度6年生は、光明小学校の授業への参加を2回予定している。他にも、同規模学校の熊小学校、上阿多古小学校とのICT活動によるライブ通信等の準備を進めている状況である。(伊藤教務主任)
- ・ 小さい学校同士が集まって活動するもの良いが、大きな学校に入っていくこともよい経験である。また、同じ環境下の学校だけでなく、街中の学校との交流も考えてみるのもよいかと思う。その選択を子供たち自身に決めさせてみるのもよいのでは。(青山会長)
- ・ 子供たちが話し合いを通して自分の思いを話す交流の場が必要である。3小連合教育では、得るものがいろいろあると思う。(溝口副会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) いじめの防止のための基本方針について

議長の指示により、伊藤教務主任から、いじめ防止のための基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 横山小学校でもいじめは存在するのか。(内野委員)
- ・ どこにでもある。嫌な気持ちになったというだけでもいじめとして認め、早期に対応していくことが大切である。(伊藤教務主任)
- ・ ちょっとした事でも、きちんと記録に残し早期に対応し、丁寧に進めていく。横山小は人数が少ないこともあり、比較的少ないとは思う。だが、0ではない。(校長)
- ・ 不登校はいじめが原因であるのか。(内野委員)
- ・ 不登校の原因については多岐にわたっている。いじめも一つの要因であると思う。(校長)

- ・ ひとつの例として、見に行くつもりであった映画のネタバレらしをされた。それが子供は嫌だと言う。何でもないことであるが、本人にとっては辛かったようである。本人にメンタルの強さが必要であるとも思うが、親としてどうかかわっていけばよいのか迷うところである。  
(植田委員)
- ・ 今のお話では、いじめではないにしても嫌がらせとなる。それは、友達への思いやりや想像力に欠けているということである。学校では、すべての事柄に配慮する心を育てていってほしいと思う。(青山会長)
- ・ 子供が、家族に気持ちを語ってくれる事がなにより救いである。(溝口副会長)
- ・ 学校とご家庭での情報を密にしていじめ防止に取り組んでいきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 簡単に言うと何のお金であるのか。(青山会長)
- ・ 特色ある学校づくりとして予算で配られるもので、今回説明の分はC S加算としてどの学校も一律6万円いただいている分である。(教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### その他報告事項等

司会から、学校教育活動等支援のお願いについての説明と、次回会議を令和5年6月22日(木)午後2時からCSルームで開催する旨の報告があった。

最後に今回出席のオブザーバーの方々より、出席した感想を頂戴した。